

<優れた独創的研究>を行う若手研究者に授与される「木原財団学術賞」の受賞者を発表！

世界で初めて 「動物が春を感知し、繁殖を開始する謎を解明」した研究に！ 名古屋大学 吉村 崇氏

(公財)木原記念横浜生命科学振興財団(理事長 大野恭雄)では、第29回木原記念財団学術賞の受賞者を決定しました。(4月1日公表)

今回の受賞者は、脊椎動物が春を感知し、繁殖を開始する「動物の季節適応機構」を世界で初めて解明した吉村崇氏(50歳)です。

受賞者



氏名:吉村 崇 (よしむらたかし) 氏

所属:国立大学法人東海国立大学機構

名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所

役職:教授

授賞課題

「脊椎動物の季節適応機構の解明」

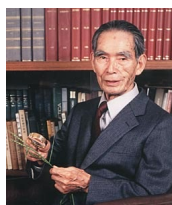
木原財団学術賞は、生命科学の分野で優れた独創的研究を行い今後のさらなる発展が大きく期待される若手の研究者(50歳以下)を対象としています。大きな特徴は「独創的研究」「対象とする研究課題で著名な賞をうけていないこと」。

光が当たりづらい、独創的な基礎研究を貫き突き進む研究者を褒章することを目的としています。

開始:1992年 応募方法:他薦

賞の内容:原則として毎年1名、賞状、賞金、記念牌を贈呈

木原財団



ゲノム説を確立し世界的な業績を残された遺伝学者で、オリンピック選手団団長※を2回務めた、故木原均博士を記念し、1985年3月に横浜で設立。ライフサイエンス分野を専門に、研究開発の支援や、ビジネス支援を非営利で行っています。~研究者・起業家と共に未来へ~

※第8回、第9回冬季オリンピック

(お問い合わせ先)

木原財団 学術賞担当:鈴木、渡部

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6

TEL 045-502-4810 FAX 045-502-9810

e-mail: watanabe@kihara.or.jp

WEBサイトはこちらから。



授賞理由 ※抜粋※

春になると鶯がさえずり、ツバメが飛来するように、さえずり、渡り、繁殖などの動物の営みは毎年正確に繰り返されています。これら動物の行動の季節変化については古くから知られていますが、生き物がいかに季節を感知し、四季の変化に適応しているかは明らかにされていませんでした。

吉村氏は、日長の変化に対して急速かつ劇的に反応するウズラを用いて、日長を測定する時計遺伝子を同定し、日長の変化によって発現上昇する鍵遺伝子を発見しました。また、ウズラが脳内で直接光を受容する脳深部光受容器を同定するとともに、甲状腺刺激ホルモンが脳に春を告げるという全く新しい働きをもつことを明らかにしました。

このように、吉村氏は脳深部で鳥類が日長の変化を感知して繁殖活動を開始する仕組みを解明し、ウズラで明らかになった仕組みが他の哺乳類にも共通していることも明らかにしています。

吉村氏によるこれら一連の研究により、脊椎動物が春を感知し、繁殖を開始する動物の季節適応機構が世界で初めて解明され、その業績は極めて独創性が高く、世界的にも高く評価されています。現在、動物が1年のリズムや月のリズムを刻む仕組みの解明にも取り組んでおり、さらに飛躍的な研究の発展が期待されることから、吉村崇氏に第29回木原記念財団学術賞を授与することを決定※しました。 ※学識経験者による選考委員会の議を経て財団理事会で決議

贈呈式・記念講演会は、8月以降に横浜で開催する予定です。

木原記念財団学術賞等 過去10年の受賞者一覧

受賞回	受賞者	受賞時の職位	研究課題
28	北野 潤	国立遺伝学研究所 ゲノム・進化研究系教授	野生動物の表現型多様化の原因遺伝子の解明
27	佐藤 健	群馬大学 生体調節研究所 所長	受精における細胞内オルガネラ変換機構などの発見
26	鈴木 勉	東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻教授	RNA修飾の生物学的な役割の解明
25	東山 哲也	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授	植物受精において花粉管誘引を司る分子群の発見
24	前島 一博	国立遺伝学研究所・構造遺伝学研究センター教授	細胞内ゲノムDNAの折り畳み構造の解明
23	芦苺 基行	名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授	イネの遺伝学研究による植物成長機構の解明と分子育種
23	水島 徹 (応用科学賞)	慶應義塾大学薬学部創薬科学講座主任教授	温故知新創薬研究基盤の確立と実践
22	後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科 教授	神経幹細胞の運命を制御する分子機構
21	木下 哲	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学科 客員教授	植物生殖過程におけるエピゲノム制御と生殖隔離機構
21	永井 健治 (応用科学賞)	大阪大学 産業科学研究所 教授	蛍光タンパク質エンジニアリングに基づく革新的バイオイメージング技術の開発
20	馬 建鋒	岡山大学 資源植物科学研究所 教授	植物におけるミネラル輸送機構